

第 2 回御代田町中学生模擬議会議事録

日	時	令和 3 年 1 月 26 日 (火) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 55 分まで
会 議 場 所	御代田町役場 議事堂	
出 席 者	別紙のとおり	
日程第 1 開会宣言		
土屋議長	<p>只今から、第 2 回御代田町中学生模擬議会を開会します。只今の出席議員は 10 名全員の出席です。理事者側は新型コロナウイルス感染症対策のため、町長、副町長、教育長、総務課長、企画財政課長のみの出席です。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は予め配布した日程のとおりです。町長より招集の挨拶を願います。</p>	
日程第 2 町長招集あいさつ		
小園町長	<p>御代田中学校の生徒と議員の皆さんにおかれましては、受験等を控え何かとお忙しい中にも関わらず、ご参集を賜り、第 2 回御代田町中学生模擬議会が開催できますことを心から感謝申し上げます。また、コロナ禍において町議会をはじめ関係各位のご協力により、本模擬議会が開催できますことを重ねて感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>この模擬議会は、中学校 3 年間の社会科学習のまとめと中学生の郷土愛の向上や主権者意識を高めることを目的に、昨年 1 月に当町では初の試みとして、第 1 回を開催したところであります。</p> <p>中学生議員の皆さんからは貴重な質問や提案をいただき、実際にいくつか実現できたものがありました。皆さんが毎日通っている中学校の駐車場の外灯の整備や防災フリーダイヤルのご提案もありました。こちらはすでに実現しているということで、少なくとも二つは、ご質問の趣旨に従いまして取り組んでいますので、効果はそれ以上に出ているものと認識しております。今回も御代田中学校の 3 年生全員で考えていただいた質問の中から町政に対する思いや願いが込められた 10 件の質問をいただいているところです。どのご質問もこれからの御代田町が魅力的でさらに住みやすくなるために考えられた身近で貴重なご質問ですので、今後の町政に可能な限り反映していければと思っております。</p> <p>本日の傍聴は新型コロナウイルス感染症を考慮し、議会から中学校へ YouTube Live で配信しております。中学校にいる 3 年</p>	

	生の皆さんもこの場の中学生議員と一緒に、御代田町の将来を考えながら観ていただければと思います。以上のとおり申し上げまして、第2回御代田町中学生模擬議会招集の挨拶とさせていただきます。
--	---

日程第3 一般質問	
土屋議長	これより、一般質問を行います。順次発言を許可します。

頁	通告番号	氏名	件名
2	1	山浦 倅	雪窓湖の水質保全と、観光資源としての利用について
4	2	井上 らら	緑があふれる御代田町を目指す
7	3	増田 力也	町の安全のため、防犯カメラの設置は
9	4	神津 結菜	街灯の少ない地域への街灯増設について
11	5	荻原 蓮	西軽井沢のガード下について
13	6	真嶋 希一	移住者を増やす取り組みについて
15	7	渡辺 英子	野菜の宣伝について
17	8	佐藤 祐誠	役場の跡地の有効利用について
20	9	柳澤 智穂	町営の町内巡回バスの運行について
22	10	渡邊 空蒼	通学費の補助について

土屋議長	通告1番山浦倅議員の質問を許可します。
山浦議員	私は雪窓湖の水質保全と観光資源としての利用について質問します。 現在の雪窓湖の水質保全や観光資源の利用について、町の考えをお聞かせください。
小園町長	雪窓湖は、西軽井沢地区北側の軽井沢町に流れる千ヶ滝湯川用水温水路からの農業用水を取水し、池で一旦貯留して温めた後、その下流域にある児玉地区の5haの水田用水に供給する目的で、昭和39年に造られた農業用温水ため池です。昭和39年と申しますと、前の東京オリンピックが開催された年ということで、今から57年前のことになります。皆さんはもちろんですが、私も生まれていないくらい前ということになります。 池の規模は満水時の面積が8,300㎡、最大水深が1.5mで、有効貯水量が7,300tを貯められる構造となっております。この8,300㎡という面積は御代田中学校のグラウンドよりも若干小さいものであり、有効貯水量7,300tは御代田中学校のプールに換算しますと17杯分となります。 これまでの動きは、平成19年から平成21年には7,820万円をかけて波消し護岸や導水路の設置、遊歩道の改修や池の底に

	<p>溜まった土砂撤去による機能保全の他に、公園であることからベンチや花壇の設置、植樹、水洗トイレなども整備した経緯があります。</p> <p>その後は地元の向原区の皆様や周辺地域の皆様によって、ゴミ拾いや草刈り、除草などの美化運動を年間を通じて継続的に実施していただいているところであります。</p>
山浦議員	<p>私たちは、御代田町の活性化を目指して雪窓湖の改善を提案いたします。こちらの写真をご覧ください。こちらは2021年1月現在の雪窓湖の様子です。現在の雪窓湖は藻や水草が大量に繁茂し、水が濁り、過去の雪窓湖と比べ、湖としての美しさが感じられない状態となっております。</p> <p>過去には、湖の周りにキャンプ場やカヌーの体験ができる場所があり、観光資源としての活用もされ、最盛期には年間最大15,000人もの観光客が訪れていたとの記録がありますが、このような湖の状態では観光資源としての活用もできません。以上のことから次の三点について提案いたします。</p> <p>一つ目は、雪窓湖周辺の雑草やゴミの撤去清掃の実施です。できるだけ多くの方が参加できるようにボランティアなどの募集を行い定期的に行っていただきたいです。</p> <p>二つ目は、町による水質調査や水質改善に向けた事業の実施です。町民での実施は難しいので、町の方で計画を立て定期的に行っていただきたいです。</p> <p>三つ目は、水質改善後に雪窓湖の観光資源としての利用の検討とホームページ等を使った御代田町内外への広報活動の実施です。雪窓湖を観光資源として利用して、御代田町の良いところをさらに町内外にアピールし、昔のように観光客が増加して活気のある町づくりをしてほしいです。これらの提案について町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>先ほども申し上げたのですが、大前提として雪窓湖は「湖」という漢字を使っていますが、これは湖ではありません。農業用の温水ため池であることが前提になります。水田に水を供給するために、水を温めた後に供給することが、温水ため池の目的です。</p> <p>雪窓湖の水質であります。千ヶ滝湯川用水の影響を強く受けることとなります。雪窓湖そのものの水質調査の記録はございませんが、雪窓湖から下流の水系で、湯川に合流する手前の地点で、毎年水質調査をしています。農業を行う上で、問題がない水質であると認識しております。ただし、上流域の軽井沢町や西軽井沢区、向原区から雪窓湖に至るまでの用水路の周辺は、道路整備や宅地化が進んだことで周辺環境が変化したこと</p>

	<p>に伴い、降雨の際に、道路排水や土砂や枝等が用水路に自然に入ってしまうため、昔のような水質を保つことは困難であります。そのような変化があるということをご理解いただければと思います。温水ため池は、太陽光で水を温める場所であることから、あまり深い構造にするわけにもいかないという事情もあります。そのため、流入した土砂などが堆積しやすく、葦などが繁茂しやすい状況であることは、先ほどの質問のとおりであります。水質改善も含めた定期的な撤去などは必要であると捉えているところではありますが、実際には多額の費用がかかるため、時期を見計らって実施する必要があると思います。</p> <p>雪窓湖を以前のように、観光資源として活用という趣旨のご提案をいただきました。25年ほど前までは、雪窓湖にボートの貸し出しや釣り堀があり、町の観光施設の一つとして、町内外の皆様に利用されておりましたけれども、ボートの栈橋の老朽化などが起こり、維持管理が困難であることから廃止されたという経緯があります。現在、雪窓湖の周辺は住宅地になっていることはご案内のとおりであります。観光客が増えると、騒音やゴミのポイ捨てなどの近隣に住んでいる人々の住環境に悪影響が出ることも考えられます。費用の面はもちろんのことですが、誰がどのように管理していくのかといった検討も必要となります。観光資源として、町内外の広報活動についてもご提案いただきましたが、現在は雪窓公園、やまゆり公園、龍神の杜公園、真楽寺に隣接する浅間しゃくなげ公園を公園や観光施設として活かすべく、町観光パンフレットに掲載するなど広報に取り組んでいるのが現状です。</p>
山浦議員	<p>仰っていただいたとおり、雪窓湖が農業用水のため、なかなか観光資源として利用することは難しいのかもしれませんが、新しいものや建物をどんどんつくっていくよりも、昭和39年から雪窓湖があるということなので、昔ながらのものや御代田町の自然などを活かしながら、町の活性化を進めていただきたいと思います。</p> <p>よろしければ、雪窓湖の水質保全や観光資源としての利用についてもう一度ご検討し、実施を考えていただければと思っております。</p>
土屋議長	<p>以上で通告1番山浦議員の質問の全てを終了します。</p> <p>続いて、通告2番井上らら議員の質問を許可します。</p>
井上議員	<p>私は「緑があふれる御代田町を目指す」について質問します。</p> <p>この写真をご覧ください。この写真を見ていただくと、2014年にあった森林が2018年にはほとんど伐採されてしまい、住宅が建てられていることがわかります。そして、2021年では2018</p>

	<p>年には何も建てられていなかった（写真の）右側も家が建てられています。このように年々多くの住宅が建てられるため、多くの木々が伐採され自然が失われています。このことについて、町の意見をお聞かせください。</p>
<p>小園町長</p>	<p>日本全体で人口が減少していることは井上議員もご存じだと思いますが、御代田町は移住先として人気が高く、現在もわずかながら人口が増加している状況です。人口が増えるということは、住むための住宅が必要だということにもなります。住宅が必要になるという現象の中には、森林を伐採して宅地とすることもあります。</p> <p>現在の日本の地方自治の仕組みでは人口が多くなると、税収や国からの地方交付税も増えるため、町づくりにとても有利になります。もともと長く御代田町に住んできた人にとっても、大きなメリットになるということをご認識いただければと思います。</p> <p>ただ、自然が豊かであるということは、御代田町の住環境の保全にとって大変重要なことでもありますので、町の中に木々があることは大きな価値だと認識しています。</p>
<p>井上議員</p>	<p>こちらの資料をご覧ください。御代田町は軽井沢町と比べて約3%森林が少ないです。軽井沢町では企業のCSR活動の一環として、植林活動を行っています。御代田町でも植物を植える活動があるそうですが、御代田中学校の3学年にアンケートを行ったところ、約86%の人がその活動について知りませんでした。そのため、もっと多くの人々が環境について、興味を持ってもらえるようにした方が良いと考えました。</p> <p>海外では、森林から宅地に変更することができない場所をつくり、自然を増やす活動を行っています。これをグリーンベルトというそうです。現在は御代田町以外でも、工場や店を建てるために多くの森林が無くなっています。動物の居場所が少なくなり、地球温暖化が進んでいます。そこで町の森林が少なくなっている今以上に伐採されないように、森林を宅地に変更することができない場所を40%確保し、その場所を深い緑になるように、自然にあふれる町づくりをお願いしたいと考えています。60%を宅地にするという意味ではなく、将来的には少しずつグリーンベルトの場所を増やし、町の半分ほど緑が残っていてほしいと思います。</p> <p>町としては移住者を増やし、町をより活性化させる考えを持っていると思いますが、活性化のために森林を伐採して新しい場所を作るのではなく、既に宅地となっている場所や空き地を活用していくのはどうでしょうか。そしてハザードマップで土</p>

	<p>砂崩れなどの恐れがある場所には、必ず森林が残ってほしいと思っています。御代田町は空気が美味しく、水が綺麗で、そのために移住してくる人もいます。御代田町の緑が少なくなってしまうたら、御代田町らしさが薄れてしまうと思います。そのため、私たちは森林から宅地に変えられない場所を40%確保し、より自然にあふれる町づくりを提案します。このことについて、町の考えをお聞かせください。</p>
<p>小園町長</p>	<p>御代田町は先ほどお答えしたとおり、移住者の皆さんを歓迎しており、私も移住者であります。2018年の9月に移住してきて2年半経っていないという状況であり、御代田町の魅力については皆さんよりも外側の視点で考えられていると感じます。</p> <p>そんな御代田町ではありますが、全ての土地をどんなことに使っても良いという定めではございません。都市計画法という法律をご存じでしょうか。この法律の中で工場や高層の建物が建築できない地域を定めております。また、先ほどのご質問の趣旨に近いところから申しますと、建築や樹木の伐採を制限する風致地区というエリアがあることをご存じでしょうか。風致地区というエリアを町内に368.4haほど定めています。このエリア内では、木を伐採するためには許可が必要です。また、家を建てる場合には木などの植栽が必要になり、宅地の造成で一定の要件に該当する場合には、面積の一定割合の植栽が必要であるといった規制を設けております。これは1種と2種に分かれています。1種でありますと10分の5、つまり半分以上で、2種であっても10分の3以上、つまり30%の植栽が必要であるという規制です。自然の形式などの趣や味わいを風致というわけですけれども、この風致を守る活動を町としてもしっかりと進めているところであります。他にも長野県の浅間山麓景観育成重点地域の指定を受けていますので、建築の際などには緑化に努めることが必要とされるなど、宅地開発などにより町が発展していく中においても、自然豊かな町並みを確保できる取り組みを進めているところであります。</p> <p>民間においても、私が組合長を務める、森泉山財産組合が管理する山林の一部では、平成17年から株式会社東京ガスが、東京ガスの森として森林整備活動を行っているところであります。豊かな森林は災害の防止やレクリエーション、水源を守るといった多くの役割があります。町でも森林整備計画を策定し、森林整備を進めているところであります。森林の重要性も認識する中で、町では今後においても発展と自然環境保護とのバランスを考慮しながら、町づくりを進めていきたいと考えております。</p>

	<p>昨年は中止になってしまいましたが、毎年春にはみどりの即売会を開催し、苗木の無料配布などを行っております。ぜひ、皆さんにみどりの即売会にもご参加いただきまして、町の緑化に積極的にご協力いただきますようお願い申し上げます。</p>
井上議員	<p>森林を伐採して太陽光パネルを設置している光景を見たことがあります。木を伐採したところに土砂崩れ等が起こると、大きな被害が出てしまうと思います。住民のことを考えながら、グリーンベルトのような活動を実施していただけることを願っております。</p>
土屋議長	<p>以上で通告2番井上らら議員の質問の全てを終了します。 続いて、通告3番増田力也議員の質問を許可します。</p>
増田議員	<p>私は防犯カメラについて質問します。 御代田町には防犯カメラが少ないと思いますが、町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>防犯カメラの設置は、空き巣、忍び込み、車上荒らしや不審者からの声かけ事案など、地域住民が不安に感じている犯罪の発生を抑止することや超高齢化社会の中で大きな問題となっている徘徊の発生時等にも、大きな役割を果たしています。特に犯罪の多い都市部では、コンビニやガソリンスタンド、商店街をはじめマンションやアパート、個人住宅にも多くの防犯カメラが設置されており、犯罪の抑止及び発生後の早期解決が図られています。これまで町の区長会においても、ごみの不法投棄や不審者情報の収集等のため、防犯カメラの設置が議論された経過があり、町及び区長会としても防犯カメラの必要性については共通認識となっています。</p>
増田議員	<p>御代田町では、クマの出没や不審者が出るといった情報が出ているにも関わらず、他の地域と比較すると防犯カメラが少ないため、御代田町が危険な町になってしまうと考えました。そこで私たちは、人通りの少ないところや暗いところに防犯カメラを設置することを提案します。具体的には小中学校の前や必要と思われる通学路に設置するべきだと思います。小中学校の前に設置することで事件を未然に防ぐことができ、より安全に登下校することができると思います。以上のことから、小中学校の前や必要と思われる通学路に、防犯カメラを設置することに対する町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>防犯カメラがあるといいなというご提案ですが、普通に暮らしていると、そのように思われるだろうということも想像できます。その一方で、副作用のようなものがあると思います。監視社会やプライバシーの侵害を危惧する方も少なくありませ</p>

	<p>ん。設置の目的や映像の利用制限等を明確に定め、その趣旨を逸脱した利用がされないように、厳格な運用を保障する必要がありますが、保障するというをお約束しても、関係する全住民の合意を得ることは、非常に困難であることをご理解いただければと思います。</p> <p>松本市役所の例であります。窓口を訪れた男性がナイフをちらつかせるという事件があり、これにより松本市役所は、平成31年1月から7カ所に防犯カメラを設置したものの、市民団体から「生活保護申請に訪れる市民を委縮させる」などと批判があり、昨年3月から防犯カメラの運用を中止する事態となりました。6月には1カ所のみ運用を再開しましたが、このように防犯カメラの設置は簡単に判断できるものではなく、デリケートな問題をはらんでいることも認識していただければ幸いです。</p> <p>長野県警は地域の防犯意識の高揚及び自主防犯活動の活性化を図り、犯罪の起きにくい社会づくりを推進するため、地域の防犯活動に取り組もうとする地域住民によって構成される自治組織（御代田町では区のこと）、また市町村を対象として、街頭防犯カメラ設置促進事業という補助事業を実施しています。この事業については、町の区長会において各区の区長さんに紹介しています。町としましては、安心安全な町づくりの一環として、地域住民の合意を得られたところから各区や警察署等の関係機関と協議した上で、要望に応じて防犯カメラの設置に取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>防犯カメラは人の目による見守りを補完する一つ的手段にすぎず、人の目による見守りが行き届かない場所に設置することで、犯罪に対する一定の抑止効果を期待できるものであります。防犯カメラを設置したから安心という訳ではありません。特に登下校中の児童生徒たちの安全安心を図るために、当町では地域の見守り隊のボランティア活動や地域の安心の家が設置されているところであります。皆さんの安全安心はこのような地域住民の皆様の活動によって守られていることをご理解いただきまして、中学生の皆さんご自身も常に防犯ブザーや懐中電灯を携帯するなど、自ら守る防犯対策をしっかりとさせていただきますようお願い申し上げます。</p>
増田議員	<p>防犯カメラは設置されないということでしたが、町の安全のためにさまざまな取り組みがされていることが分かったので、良かったです。</p>
土屋議長	<p>以上で通告3番増田力也議員の質問の全てを終了します。続いて、通告4番神津結菜議員の質問を許可します。</p>

神津議員	<p>私は街灯の少ない地域への街灯増設について質問します。</p> <p>御代田町には街灯が少なく、暗くなると身の危険を感じる生徒が多いようです。町では街灯の少ない地域について、どのように考えているのかお聞かせください。</p>
小園町長	<p>一口に街灯という言葉を使いますが、まず区別しておきたいのは、実際には町が管理しているものと、それぞれの区が管理しているものに分かれているという前提をまずお話ししたいと思います。町が管理しているのは主に交通安全対策を目的とし、信号機のある交差点や主要幹線道路、都市計画道路の沿線にある街路灯を町が管理しています。また一方で、区が管理しているのは主に防犯対策を目的として、通学路や住宅地に設置している防犯灯であります。神津議員のご質問は、この防犯灯に関するものに該当すると考えます。</p> <p>私は御代田町に移住してから2年半経ちますが、私自身暗い所を歩いているときに、ちょっと危険を感じるというような場所があるなど認識をすることもありますし、移住者の方の中には「御代田町相当暗いよね」というようなご感想をいただくことは確かにあります。</p> <p>皆さんのご家庭の多くは、お住まいの各区に加入していることと思います。それぞれの区には、ご家庭から区費が納入されており、防犯灯の設置工事費や電気料はその区費によって賄われています。ただし、全てを区費任せというわけではありません。町は各区がLED式の防犯灯を新設する際の費用や既存のLED式でない防犯灯をLED式に付け替える費用に対して、上限2万円で補助金を交付しております。昨年度は町全体で62基が増設、またはLED式に付け替えられ、補助金の金額に換算すると、119万円ほどを交付いたしました。どのくらい防犯灯が増えたのかと申しますと、平成26年との比較で166基が増設されたということになります。現在町内には、全部で1,523基の防犯灯が設置されていますので、その1割程度がこの6年で増えたこととなります。町は各区が負担している防犯灯の電気料の2分の1相当額についても、毎年補助金を交付しています。昨年度は各区が負担した防犯灯電気料の総額約505万円に対し、町からは半額の252万5千円ほど交付いたしました。</p>
神津議員	<p>私の周辺の人たちに聞いてみたところ、ツルヤの裏道と中山歯科の通りの街灯が少ないそうです。この写真をご覧ください。街灯が少ないことがわかります。部活動を終えて暗くなると、生徒が通る時とても不安を感じるそうです。</p> <p>もう一つは、西軽井沢ガード下をくぐったところからアモーレ音楽院にかけての道です。ここも暗く不安を感じる生徒が多</p>

	<p>いようですが、町ではどのように考えているのでしょうか。町の考えをお聞かせください。</p>
<p>小園町長</p>	<p>アモーレ音楽院の近くには、私は昨年10月まで住んでいました。確かに街灯が少なく、暗いという感想を持つことは事実であります。先ほどの前提を再度繰り返してしまいましたが、基本的にそれぞれの地域の防犯灯は、各区で設置するものであることを前提としてご理解いただきたいと思います。町としてできることは、各区の防犯灯を新設するための財政的余裕を持っていただくために、どのようなことをすべきなのかという部分を考えることだと思います。今後3年間で防犯灯に関しては、集中的に町の予算を投入していくことを考えています。町議会では既にご紹介していますが、改めて説明いたします。既存のLED式ではない防犯灯を全てLED化する事業を令和3年度から令和5年度にかけて行う計画を持っています。先ほど1,523基の防犯灯があると説明しましたが、そのうち8割以上の1,278基の防犯灯がまだLED式ではありません。今後3年間で、総事業費として約3,540万円を投じます。事業完了後には、1年間で約200万円の電気料の削減が見込まれます。先ほど、昨年度各区が負担した防犯灯電気料の総額は約505万円と申しましたが、この金額の半分近くとなりますので、各区の負担軽減に繋がると期待しています。LED式は球切れがかなり少ないので、区の役員の皆様のお手間の軽減もこれにより実現します。そうしますと各区では、さらに必要な箇所に防犯灯を設置する財政的余裕も生まれると考えております。従いまして、皆さんの要望も結果的にとりやすくなると考えています。LED集中交換期間である今後3年間においても引き続き、各区が新たにLED式防犯灯を設置する費用の上限2万円の補助を継続して参りますので、各区からの積極的な要望を期待しております。</p> <p>皆さんにもう一つ知っておいてもらいたいのは光害の問題です。家の近くに防犯灯が設置されると、寝室が明るくなって眠れなくなる、作物の生育に支障がある、夜空の星が見えなくなってしまうなどの声があり、実際に光害を理由として防犯灯を設置する位置を変えたケースもあると聞いています。先ほどの防犯カメラの問題も同様ですが、増やしていないことにも一定の論理が存在するという事です。</p> <p>神津議員のご提案の2ヵ所につきましては、町から関係区長さんに相談してみたいと思います。町内を見渡しますと、まだまだ多くの必要な場所も存在しているのではないかと思います。今回は模擬議会という形ですので、町にご要望をいただきましたけれども、それぞれお住まいの地域で若い皆さんが、地</p>

	元の区長さんにお話いただければ、ありがたいですけども、もし、そのようなことをまだなされていないようであれば、ぜひ地元の区長さんに要望を届けることも、この地域の町づくりにとって、とても大事であるということをお知らせしたいと思います。地元をより良くするために、中学校で傍聴されている3年生の皆さんも含めて、一人一人の行動が大切だと考えております。
神津議員	このように街灯が少ない場所が多いことで、身の危険を感じている生徒が増えていると思います。他の区でも危険な場所があったら、この意見と地域の人からの意見を取り入れ、防犯灯を設置していただけるとありがたいです。
土屋議長	以上で通告4番神津結菜議員の質問の全てを終了します。続いて、通告5番荻原蓮議員の質問を許可します。
荻原議員	私は西軽井沢のガード下について質問します。 西軽井沢のガード下について危険だと感じている人がたくさんいます。このことについて、町の考えをお聞かせください。
小園町長	危険だと感じる方がいるということは、私も聞いたことがあります。私も以前住んでいたところから西軽井沢のガード下をよく通っていましたが、朝の通勤通学時間帯になかなか出にくいというような認識をしています。
荻原議員	多くの人が利用している西軽井沢のガード下ですが、危険な箇所があります。こちらの資料をご覧ください。事前にアンケートを取ったところ、危険な箇所があると答えた人は50%いて、その中でも西軽井沢のガード下が危険だと答えた人がたくさんいました。特に朝や帰宅時は車と人で混雑しています。ガード下は道が狭く、車同士のすれ違いができないので、渋滞の原因になっています。また、四方向から車が来て歩行者と衝突し、事故や車同士での事故が発生してしまいます。今後は道路を広げたり、信号機を設置するなど、安全に通れるようにしてほしいです。このことについて、町の考えをお聞かせください。
小園町長	しなの鉄道をくぐる西軽井沢のガード下の道路は、車道部分が昭和43年8月に完成し、その後、昭和58年11月に歩道部分がつくられ、現在の道路となっています。荻原議員のご指摘どおり、道路幅が狭く、すれ違いが困難な状態でありますので、どちらかの車が停車して、譲り合いながら通行をしていただいているという状況であります。また、御代田駅から向原区に向かういわゆるシチズン通りの渋滞の原因となっていて、安全性や利便性、渋滞の解消について、役場としてはこれまでも検討を重ねて参りました。

	<p>検討した道路計画は現在の道路を残しつつ、線路の下にもう一つ穴を通して新しい道路をつくり、それぞれを一方通行にするという手法です。片方をシチズン通りから西軽井沢方面に向かうもので、もう一つを東側に西軽井沢方面からシチズンへ向かうものというような設計となっていました。検討した道路は幅5m、高さ4m、延長は10mほどになります。この工事に着手する場合にかかる費用は、平成16年の試算において6億5,800万円かかると試算が出ております。当時の役場としてはこの金額を出すことはできないということで断念した経緯があります。その後、作業員の皆さんの労賃の単価が上昇していることやコストが変化してきており、今着手すると仮定しますと、6億円では済まず、10億円近い事業費が見込まれるということになります。また、工事期間は2年ほどと予想されますが、その間に工事を行っている区間では、列車を徐行させることを2年ほどに渡って行う必要があり、大きな影響が出ることも考えられます。町内の道路は、しなの鉄道の南北を往来する橋などの立体交差施設が限られているということは事実としてあります。荻原議員が指摘されている西軽井沢のガード下のように、十分な道路幅が確保されていない箇所があることは事実です。</p> <p>現在、御代田町が計画している道路の一つに、役場北側の新しい道路を南浦3号線道路と呼びますが、この道路を延長して、この役場と西軽井沢方面を結ぶ道路計画があります。この路線を東原西軽井沢線と呼んでいます。東原西軽井沢線の整備により期待されることは、生活道路としての利便性の向上です。また、私が危惧していることは、仮に浅間山が噴火した場合に、逃げる道が西軽井沢のガード下のみだと、西軽井沢から1,000台以上の車がガード下から避難することになります。そうすると、災害が発生してから約1日程度逃げ遅れる可能性があるという認識をしております。そういった危険性を回避するためにも、東原西軽井沢線は重要な路線となっていくと考えておりますので、計画を進めて参りたいと思います。安全で安心な避難路を兼ねた道路が整備されると、この地域に住みたいと思う人が増え、将来的にも人口の増加が見込める地域になって参ります。東原西軽井沢線の開通により、西軽井沢のガード下を通行する車が減少すると考えられ、渋滞の解消に繋がると期待しています。このように他の道路を通すことによって、西軽井沢のガード下の通行や渋滞の緩和を図っていきたいというのが今の考えとなります。</p>
荻原議員	<p>今の話を聞いて、西軽井沢のガード下は混雑することが減るということを知ったので安心しました。しかし、混雑するだけ</p>

	<p>ではなく、衝突事故等の防止など他にも意見があると思うので、1日でも早く、西軽井沢のガード下が安全に通学できるような対策などを考えてほしいと思います。</p>
土屋議長	<p>以上で通告5番荻原蓮議員の質問の全てを終了します。 この際、暫時休憩とします。</p>
<p>暫時休憩（14時50分～15時00分）</p>	
土屋議長	<p>休憩前に引き続き、会議を再開し、一般質問を続行します。 通告6番真嶋希一議員の質問を許可します。</p>
真嶋議員	<p>私は移住者を増やす取り組みについて質問します。御代田町では移住者を増やす取り組みについて、どのような取り組みを行っているのでしょうか。町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>当町で実施している移住促進事業についてですが、移住希望者へ町の情報を届けるために、銀座NAGANOという東京の銀座にある長野県のアンテナショップを会場として、移住トークイベントを毎年開催しております。コロナ禍で直近の開催が難しいところではありますが、令和元年度は移住トークイベントを3回開催いたしまして、38名の方にご参加いただいております。</p> <p>また、移住希望者が実際に町を訪問して、町内施設の見学や町での生活を体験していただく移住ツアーを実施しております。これは民間の別荘体験施設とのタイアップにより、実施しています。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となってしまいましたけれども、平成30年度には4組の家族にご参加いただきました。</p> <p>この他には、町内の物件を紹介する空き家バンク事業の実施や地域おこし協力隊の動画配信や「移住相談できる図鑑」といったパンフレットなどの広報活動を実施してきており、随時の移住相談も受け付けて参りました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、移住トークイベントや移住ツアーは開催できておりませんが、その代わりとしてウェブ会議システムを利用したオンライン移住相談を実施したところ、3件の相談を受けております。</p> <p>ふるさと納税の返礼品として、私が直接オンライン移住相談をさせていただきまして、こちらは2件の応募がありました。いずれの方も、当町に対する強い思いや移住に対する強い思いを持ったお二方の相談を受けることができまして、お二方とも近いうちに移住してもらえると認識しています。</p>
真嶋議員	<p>統計からは、御代田町は他の市町村と比較すると、高齢化が進んでいない地域と言えます。こちらの資料をご覧ください。こちらは御代田町の人口推移グラフです。このグラフを見ると</p>

	<p>今後は高齢化が進んでいき、将来それが問題となることが予想されます。そこで私たちは、その問題が大きくなる前の解決策として、他の市町村からの移住を促進する取り組みを提案いたします。具体策としては、近隣の佐久市や小諸市で行っているような移住者への助成金を出す政策はいかがでしょうか。町の考えをお聞かせください。</p>
<p>小園町長</p>	<p>日本は現在、人口が減少しており、全国的に少子高齢化が進んでいます。その中で長期的に見て、1市町村だけが少子高齢化を免れるということはもちろんありませんので、少子高齢化社会に適応していくことが必要となっています。今回の真嶋議員の指摘は、とても重要な側面をはらんでいます。御代田町は現在、社会増により人口が増えていて、その結果として高齢化率を抑えられています。しかし、元々御代田町に住んでいる皆さんの高齢化というのは、他市町村と同様に進んでおり、高齢化に対する対策は、他の市町村と同様に進めていかなければならないことは、先ほどの年齢層による人口動態からも明らかであると言えます。そういった意味で人口動態を年齢別に出されているということは、非常に良い調べ方をされていると思いました。</p> <p>当町は自然環境に優れ、自然災害が少ないこと、近隣と比較して地下が安価であること、そして住みやすい町づくりを進めてきたことから人口が増加しています。また、大規模な企業が立地していることも人口の増加を下支えしている要因となっています。ご案内のとおり、近隣市町村では移住対策事業として、就業・創業移住への補助や新幹線定期への補助、移住者の住宅建設に関わる補助を実施しておりまして、そういったことも一つの方策であろうと考えます。しかしながら、町づくりの総合力や地価の安さから、既に皆様から選ばれる存在となっている御代田町には、その必要はないと私は考えています。これまで私も移住を検討する皆様から、御代田町には移住の補助制度がないのかと聞かれることも度々あります。私も移住者の一人ですので、移住者は補助制度だけでなく、それぞれの町の住みやすさやそれに見合った不動産の価格など、総合的に考えた結果としてこの町を選んでいることを体感的に知っています。従いまして、せっかくのご提案ではありますが、このようなご提案をしてくださった方には、補助制度以上のメリットを感じて当町を選んでくださってありがとうございます、とお答えしております。補助制度がないから移住を辞めたという方は、私は一人もいないと思っています。限られた財源の中で移住者に直接補助するのは、当町の現状に照らすと効果的ではないと私は考</p>

	<p>えています。近隣の他の市町村の状況であれば、直接の補助というのも必要になってくる可能性はありますが、当町の現状で直接の補助ということは、あまり適切ではないと考えています。道路や上下水道などのインフラの整備、教育環境の整備、老人福祉や保健福祉の充実など町づくりの総合力を上げることで移住者にも、元々住んでいる町民にも、魅力的な町となるよう施策を推進して参りたいと考えております。</p>
茂木教育長	<p>町長の答弁に一言付け加えさせていただきます。移住者を増やす政策になぜ教育委員会が答弁するのかわかるかと思われるかもしれませんが、ここに「御代田町で移住相談ができる図鑑」という冊子がありますが、ご覧になったことはありますか。先ほど町長からも紹介がありましたが、この中の9ページにある移住者の方が、なぜこの町を選んだかが掲載されています。その中で「子どもたちの雰囲気が良い町」、そして移住してくださった方が「この子たちが自分の子どもの友達になってくれるのなら安心できる」と書かれています。神奈川県から移住してくださった方ですが、どうしてそう思ったのかは、御代田中学校の生徒の皆さんの姿を見てそう思ったそうです。皆さんが一生懸命学んでいる姿というのは、移住を決定する要因を作っているということです。皆さんもそういう大きな財産を持っていることを知っていただいて、ただ単にお金を補助すれば来てくださるということではなく、御代田町のもっと大きな、総合的な力になっていただければありがたいと思います。</p>
真嶋議員	<p>先ほども仰っていたとおり、お金を配ることによって移住者を増やすのではなく、その他の要因で移住者を増やしていく政策をこれからもよろしくお願いします。</p>
土屋議長	<p>以上で通告6番真嶋希一議員の質問の全てを終了します。 続いて、通告7番渡辺英子議員の質問を許可します。</p>
渡辺議員	<p>私は野菜の宣伝について質問します。 現在、御代田町は全国有数の野菜の産地です。そのことについて、あまり宣伝していないと思いますが、町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>当町の野菜は、レタス、サニーレタス、グリーンリーフ、キャベツ、白菜などの葉もの野菜に始まり、近年ではブロッコリーも有名となり、県内では川上村、南牧村に続く高原野菜生産地となっています。小諸市、佐久市、軽井沢町、御代田町、立科町、佐久穂町、東御市の旧北御牧村のエリアで構成されるJA佐久浅間管内の中でも、当町はとりわけ野菜の作付面積が大きく、令和2年は25億円の野菜販売実績を上げ、管内ではトップ</p>

	<p>の実績であります。この他に農業生産法人など、JA 以外での販売実績も大きく、当町の野菜ブランドは、市場取引で大変高い評価をいただいています。野菜の宣伝活動について今年度は、長野県の市町村や企業が特産物等を幅広く紹介する店舗として、先ほどもお話をさせていただきました、東京都の銀座にある銀座 NAGANO というアンテナショップと協力しながら、町内産のレタスとトウモロコシの宣伝販売をしました。また、昨年4月から銀座 NAGANO に、御代田町から年間を通して職員を派遣しております。職員がラジオ出演などをする際には、町内産レタスの紹介をしているところであります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度は実施できませんでしたが、東京都の大田市場や大阪府の大阪市場まで私が直接赴き、当町の高品質な野菜を売り込むトップセールスを例年実施しているところであります。実際に市場に出荷されている野菜を見ますと、他の生産地の品物に比べて、遥かに上回る品質であることが見て取れまして、市場の卸売業者さんや買い付けをするお店などからも、高い評価を得ているところであります。その他にも、例年10月中旬に開催される東京都の江東区民まつりにおいて、観光宣伝と併せてレタスや白菜、ブロッコリーなどの生鮮野菜を直売しております。祭りが開催される2日間とも大盛況でありまして、両日ともに2tトラック1台分の野菜が即時に完売するなど、人気商品となっています。</p> <p>また、野菜収穫期においては、新鮮な野菜をふるさと納税の返礼品として登録いただいております。町の野菜のPRを兼ねたふるさと納税の一助となっており、こちらも好評いただいております。</p>
渡辺議員	<p>他の野菜の産地では、ホームページなどで宣伝されています。クラス内でアンケートをとった結果、御代田町の知名度が低いことがわかりました。</p> <p>また、御代田町の知名度が上がれば移住者が増えるという声が多かったです。知名度を上げる一つ的手段として、野菜の宣伝を二つ提案します。</p> <p>一つ目は野菜の生産が有名な川上村などと同様に、御代田町のホームページに野菜が収穫されるまでの工程を掲載し、まずは皆さんに野菜に興味を持ってもらうことです。</p> <p>二つ目は、ポスターを使った宣伝です。駅の構内やスーパーの入り口などの人目に付くところにポスターを貼るのはどうでしょうか。町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>ホームページなどでの当町の野菜に関するPRということでございますが、ご指摘いただいたようにこれまで野菜農家さん</p>

	<p>が高原野菜のブランド力の向上に向けて、さまざまな取り組みをしてきていただいたにも関わらず、役場として町外に向けた情報発信がこれまで弱かったという認識をしております。高原野菜をより多くの皆さんに知っていただける広報にするべく、具体的に検討して参りたいと思います。今後は、中学校でお聞きくださっている皆さんにも、アイデアを寄せていただくような機会を設けたいと思っております。</p> <p>私は、町長就任からおよそ2年が経過しているところでありますけれども、この期間で広報体制を大幅に強化して参りました。Twitter、Facebook、Instagramの活用、町での新規事業等を行うことを新聞社とテレビ局にFAX等で送り、周知することをプレスリリースといたしますが、こちらは私が町長に就任するまでは行っていませんでした。プレスリリースの発行を通じたメディア露出によりまして、当町でもこれまでにない実績を積み上げてきたつもりでございます。情報の種類で申しますと、Twitter、Facebook、Instagramは時間の経過とともに、その情報が後ろに流れていってしまいます。これをフロー型といたしますが、フロー型の情報発信を今まで強化してきました。日々町で起きていることやこれから町で行いたいことをその時点に応じて紹介していく、フロー型の情報発信に力を入れてきました。</p> <p>一方で、渡辺議員のご指摘のとおりでいつ見ても、同じ場所で御代田町のことを分かっていたいただけるような、ストック型の情報発信は正直言って、まだまだ弱いと感じております。役場はこれだけの陣容ですので、一度にフロー型とストック型の両方の情報発信を行うのはなかなか難しかったのですが、フロー型については、実績をつくって参れたと思います。ここからは渡辺議員が仰るように、ストック型の情報発信をしていく方向に、次の御代田町広報の未来があるというように認識しておりまして、ホームページの作成に加えて、ブログも過去の記事が検索しやすいという面では、ストック型の情報発信となります。今後は民間企業との連携も視野に入れながら、ストック型の情報発信を強化したいと考えております。渡辺議員のご指摘は非常に有用なものと感じておりますので、具体的に検討しております。</p>
渡辺議員	<p>私たちの提案で、少しでも御代田町の知名度が上がり、移住者が増えることを願っています。</p>
土屋議長	<p>以上で通告7番渡辺英子議員の質問の全てを終了します。 続いて、通告8番佐藤祐誠議員の質問を許可します。</p>
佐藤議員	<p>私は役場の跡地の有効活用について質問します。現在は主に役場関係者の皆さんの駐車場として利用されています。駐車場</p>

	<p>として利用されている部分は、今後も利用されていくと思いますが、駐車場以外の部分はどのように利用されていくのか、町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>旧役場庁舎につきましては、現在の庁舎が平成30年の5月にオープンしたのを受けまして、令和元年末に取り壊しをしたところであります。現在、跡地は役場職員駐車場として、一部を倉庫用地として利用しているところあります。</p>
佐藤議員	<p>先日、御代田中学校3学年の生徒に役場跡地の利用についてアンケートを実施しました。こちらの資料をご覧ください。役場跡地に教育機関で何か必要なものはありますかという質問に対し、「はい」と答えた生徒は127人中28人、「いいえ」と答えた生徒は127人中99人いました。</p> <p>さらに、「はい」と答えた生徒に何を建設したらいいかとアンケートをとったところ、自習室、学習塾、専門学校、高等学校、保育園、幼稚園、託児所、児童館、図書館が挙がり、他の類いでは、プール、スポーツ施設、職業訓練施設、御代田町の特産物を使用する飲食店が挙がりました。結果では、御代田中学校3学年では必要と答えている生徒が22%と少ないですが、町に必要と答えている生徒もいるので、私は少数意見の尊重も大切だと思います。また、跡地を無駄なく利用した方が良いと思います。</p> <p>金銭的な問題が生じた場合には、クラウドファンディングというインターネット上で同じ考えを持っている方に資金を提供してもらえろという制度を活用し、財源を確保できると思います。以上のことを踏まえ、役場跡地の有効活用を提案します。町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>旧役場跡地は町の中心部であり、重要な場所と認識しています。一部の借地部分を含め、約15,000㎡の敷地面積があります。御代田中学校の敷地面積が28,000㎡ですので、御代田中学校の約半分の敷地面積となります。</p> <p>役場内におきましては、この土地に関してどのように活用していくかどうかの検討を今後進めていこうとしています。先ほどの例にもありましたが、高等学校以上の学校が御代田町にはないことが、御代田町における長年の課題の一つであると認識していますので、今後の検討の一つの柱となると思います。ただ、少子化は御代田町単独ではいかんともし難しいところがありますので、高等学校など学校の数は減らしていくことが、現在のトレンドであります。そうしますと、実質的にはどこかの学校を廃止して御代田町につくるということになると思いますので、決して道のりは簡単ではないです。どちらかという、ど</p>

	<p>こにも無いような強い個性を持った専門学校を全く新しくつくることなどの、そういった方向性の方が、実現する可能性が高いと私は思います。</p> <p>また、先ほどクラウドファンディングという話がありましたが、町では既に、ある意味クラウドファンディングを実施しているという認識であります。何故かと申しますと、ふるさと納税という制度があるからです。昨年9月に新しいふるさと納税の方法として、「みよたんクエスト」を全国に先駆けてスタートしました。使い道をあらかじめ寄附者の皆様の開示し、それを連続的に集めていくものです。寄附いただいた金額でみよたんが成長していく仕組みですが、現在レベル29まで成長しています。言い換えると、これまでに29のクラウドファンディングを当町で行ったということになります。そして、現在は給食費の無償化を掲げて最後の戦いをみよたんがしているところです。一方で、クラウドファンディングに頼ることが良いのかというところは議論の余地があると思ひまして、町として必要な財源を確保して必要な事業に充てていくということも必要だと思います。数億円かかるような事業に係るお金をクラウドファンディングで集めるということは難しいと感じています。</p> <p>さて、御代田町では来年度から2年間を掛けて、居住機能や医療福祉、商業などさまざまな都市機能の誘導により、町全体を見通し、生活に必要な機能が近接する効率的で持続可能な都市を目指す、コンパクトシティに関する計画を策定していく予定であります。これに付随し、近年実施した各児童館の建設や中学校南側の平和台区道路整備事業と同様に、国からの交付金を活用して、事業を実施していくために都市再生整備計画を2年間掛けて、新しく策定していく予定です。このように国の交付金を活用していくということも、町の仕事として大事だと思います。この都市再生整備計画は、一般的には5年間の計画となりますが、中山歯科さんから西軽井沢地区への道路の新規開設や、町道御代田佐久線、通称かりん通りや御代田駅周辺を含めた町の賑わいを創出する事業を今後検討していく予定です。町の中心とも言える旧役場跡地については、こういった新しい事業による効果も考慮する中で、どのように活用していくか、総合的に判断していく必要があると認識しています。良いアイデアがございましたら、ご提案をお願いいたします。</p>
佐藤議員	<p>役場跡地の有効活用に高等学校などのさまざまな意見がありましたが、それは御代田町だけではなく他の市町村や国からの交付金等を踏まえて、考えていかなければならないということが分かりました。</p>

	<p>ですが、役場跡地を有効活用することによって、少子高齢化のスピードを減少させることや、保育園や幼稚園、託児所の設置によって、家庭内の保護者負担を軽減させることも考えられます。また、町の活性化にも繋がると思いますので、よろしければご検討していただきたいです。</p>
土屋議長	<p>以上で通告 8 番佐藤祐誠議員の質問の全てを終了します。続いて、通告 9 番柳澤智穂議員の質問を許可します。</p>
柳澤議員	<p>私は町営の町内巡回バスについて質問します。現在、御代田町には町内と町外を繋ぐバスが運行していますが、町内を巡回するバスは運行していないと思います。このことについて、町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>仰るとおりで、町内を巡回するバスは、現在運行していません。</p>
柳澤議員	<p>私たちは町営の町内巡回バスをつくることを提案します。御代田町の高齢化率は全国平均を下回っているものの、地区によっては高齢化率が高いところもあり、差が生じています。そして、高齢化率が高い地区ほど役場やスーパーから離れており、タクシー券の制度があっても高齢者の移動には負担が大きいと考えました。また、中学生の中には、登下校の送迎を保護者にしてもらっている生徒も多く、保護者にも負担があると考えています。</p> <p>事例の一つとして、近隣の小諸市では「こもろ愛のりくん」や「愛のりすみれ号」といった公共交通機関が整備されています。目的は、高齢者の外出機会の創出や通勤・通学の支援です。私たちは、このようなバスが御代田町にも整備されることで、多くの人々の負担が軽減され、町内の人々の結びつきや繋がりが強くなると考えました。</p> <p>まず、バスの運行にあたっては、町営にさせていただくことを要望します。町の負担は大きくなってしまいますが、町営にすることで管理がしっかり行き届き、町民の皆さんが安心して利用できることに繋がると思うからです。また、運行の時間は朝 7 時から 8 時の登校時間と部活動等で帰宅時間が遅くなる午後 6 時以降を目安に、中学生とその保護者のサポートをしていただきたいです。そして、主に高齢者の移動をサポートすることが目的の日中は、午前 10 時から午後 3 時を目安に、道路の通勤や帰宅ラッシュに被らない時間の運行をお願いしたいです。効率よく安全に運行できる環境を整えることも、町民の皆さんが利用する上での安心に繋がると思いました。以上に示した町内の現状や私たちの考えから、町内巡回バスをつくることを提案</p>

<p>小園町長</p>	<p>します。この提案について町の考えをお聞かせください。</p> <p>現在の当町の公共交通としては、御代田駅と佐久市の浅間病院を結ぶ路線バスの佐久御代田線、しなの鉄道、高齢者を対象としたタクシー利用券助成事業があります。かつてのバスは、軽井沢町と小諸市を結ぶ路線がありましたが、平成 19 年に廃止となっております。これを受け、町では交通政策を検討するための新交通システム検討委員会を設置し、巡回バスを含めた公共交通のあり方の検討を重ね、その結果として巡回バスではなく、高齢者を対象としたタクシー利用券助成事業を平成 21 年から開始しました。加えまして、平成 28 年度には改めて公共交通ニーズ調査を実施しています。鉄道や路線バス、タクシー利用券助成事業に加えて、巡回バスを含めた検討を行っていました。巡回バスについては、中学生や高校生も対象に日常生活に必要な通院や買い物、通学等といった移動手段を得ることを目的に、御代田駅から三ツ谷、馬瀬口、塩野、清万、一里塚などを巡回する北ルートと御代田駅から御代田中学校、御代田中央記念病院、向原、伍賀地区、児玉、小田井、荒町などを巡回する南ルートの 2 ルートを平日 5 便の運行を想定し、利用者予測を踏まえたシミュレーションを行いました。この調査に関し、新交通システム検討委員会で検討を行った結果、巡回バスについては初期投資で約 3,000 万円、毎年発生するランニングコストは約 2,800 万円と事業費は大変大きなものとなりますが、利用者の見込みは、1 日で 44 人という結論となり、実施を見送った経過があります。単純にランニングコストだけ見て計算すると、乗客 1 人に 2,000 円かかるということになってしまいます。</p> <p>また、近年のバス事業のあらましを見ていきますと、今大変困難なことは運転手の不足です。御代田町では幸いにも、町としての努力と運も手伝いまして、2 名のバス運転手をなんとか確保できている状況ではありますが、確保ができていない市町村もある中で、新たなバスを走らせることは困難を伴うことを認識しています。その代わりというわけではありませんが、タクシー利用券助成については、元々 600 円の負担で 1,500 円まで利用できるというものを細切れにしまして、400 円の負担で 1,000 円までの利用とすることに加え、年間 36 枚から 48 枚まで利用できるように拡大し、より利用しやすい制度へ変更を行うとともに、新たに妊娠女性や乳幼児を育てる家族のためのタクシー券制度を創設したところでもあります。また、このタクシー券制度に関して、今後はより充実させたいと私は考えております。現在、公共交通については、自動運転やライドシェアといった新しい手法も研究されているところでありまして、こう</p>
-------------	--

	<p>いったことを踏まえた中で、今後においてもより良い公共交通のあり方の検討を進めて参ります。</p>
柳澤議員	<p>実際にバスの町内巡回を想定したシミュレーションを行って、そのような結果が出たという事実を知れて、とても学ぶことが多かったです。</p> <p>ただ、車社会での御代田町で、高齢者の危険な運転やそれに伴った免許返納などの問題は、町内を運行するバスなどで解決できるのではないかと考えました。タクシー券の使用もこれからますます充実していきたいということなので、これからも前向きな検討をよろしくお願いします。</p>
土屋議長	<p>以上で通告 9 番柳澤智穂議員の質問の全てを終了します。</p> <p>続いて、通告 10 番渡邊空蒼議員の質問を許可します。</p>
渡邊議員	<p>通学費の補助について質問します。私たちは電車通学の補助を要求します。現状は学割があるものの、依然通学費は高いままです。御代田町に住んでいる高校生で電車通学をしている人に補助金を出すのはどうかと考えたのですが、現在、御代田町では補助金をどのように使っていますか。町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>お答えしたいのですが、補助金をどう使っているのかというのは、質問の中身として答えようがないと思いましたが、お答えを控えさせていただきます。</p>
渡邊議員	<p>私たちは、電車通学をしている人に補助金を出すのはどうかと考えました。こちらの資料をご覧ください。御代田町の運賃は、御代田駅から小諸駅までは 8.8 km で 240 円に対し、静岡県の富士駅から源道寺駅までは 9.3 km で 210 円となっています。また、御代田駅から軽井沢駅までは 13.2 km で 320 円に対し、新潟県の新潟駅から内野駅までは 13.5 km で 240 円となっています。この他に、御代田駅から上田駅までは 26.8 km で 610 円、新潟県の新潟駅から巻駅までは 26 km で 510 円となっています。このように御代田町の運賃は、御代田町に似た地域より高額でした。</p> <p>また、御代田中学校の 3 学年にアンケートを実施したところ、高校生になったら電車を利用しようと考えている生徒が 142 人中 124 人、電車通学に補助金が出るとしたら、受け取りたい生徒は 142 人中 139 人いました。このようなことから御代田町に住んでいる高校生で、電車通学をしている生徒に補助金を出すことを要求します。町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>まずご質問を聞いていて、議論の前提になるところで、少し齟齬があると感じたので、少しお話をさせていただきます。議</p>

会議論において要求ということは、あまり適切ではないと思います。中学3年生としてこれから高校に進学する中で、通学費補助が欲しいという気持ちはわかりますが、議員さんとして考えたときに、町づくりを考え、どのように議論していくのか、どういう議論を深めていくのかということが議会の大きな役割であり、町役場と町議会の関係もそのようなものですので、この場は要求するものではないことをご理解いただきたいと思います。

また、質問は事実関係に基づいて質問をしていただきたいと思います。先ほどの資料を拝見したところ、運賃が高額だとありましたが、そこまでの差がないように見受けられます。もし、そのような趣旨で質問をされる場合は、それに基づいた資料を提出された方が良いかと思います。ここまでは、教育的観点からお話をさせていただきました。

私の選挙公約の中には、給食費の無償化と通学費の補助があります。給食費の無償化については、新型コロナウイルス感染症拡大による子育て世代の経済的負担軽減を図ることを目的に、今年4月から開始予定でしたが、前倒しをしまして、昨年の7月から開始しています。現在、通学費の補助につきましても、昨年度から調査及び検討を進めております。しかし、選挙公約の実現に向けましては、多額の予算が伴うものが多くございます。従いまして、一度にすべてのことを実現するには難しい現状があります。今の時点でお金を使い過ぎてしまうと、皆さんが大人になったときに、かえって借金が増加したり、皆さんにご迷惑をおかけしてしまう可能性があります。未来を担う皆さんのためにも、財政的にもかなり慎重に取り扱っていかねばならないということが、私の責任としてあります。このため、選挙公約の一つ一つに私なりに、また、役場として優先順位をつけて、財源を確保して実施している状況です。現在、町内には高校がありませんので、通学にはどうしてもお金がかかります。通学費を補助することで、町外に通学している生徒がいるご家庭の経済的負担を軽減することは教育環境の充実にも繋がるので、大変重要なものだと考えております。

通学費補助の調査及び検討状況についてお答えします。令和2年4月時点において、電車やバスで高校に通っている生徒は、高校1年生から高校3年生までで約480人になります。仮に高校生を対象として、月3,000円の補助を行うとした場合は、年額約1,700万円となります。通学費の半額を補助した場合、年額約2,300万円の予算が必要であると試算しています。例年、御代田中学校の運営に対する教材関係の費用や学校を維持する

	<p>維持管理費用等の諸々の教育費すべてを合わせるとどの程度の金額となるかご存じでしょうか。年間で約 6,000 万円をかけております。従いまして、学校全体で約 6,000 万円かかるということに対して、通学費の補助は先ほどの率で補助をした場合に、かなりの額になると言えます。通学費補助の額を考えた場合に、定期代に関して何割の補助や一律の定額補助など、さまざまな方法が考えられます。通学費を補助している他市町村については、御代田町と比較しても交通の不便な市町村がほとんどになります。また、補助対象者を郊外通学に限定している市町村もあり、補助の方法はさまざまであります。いずれにしましても、補助方法や補助額について、町の財政状況を加味しながら、引き続き検討を重ねて参りたいと考えております。御代田中学校の生徒の皆さんをはじめとして、御代田町の子どもたちに対する教育政策をより一層進めて参り、より良い教育環境が整えられるように精一杯努力して参りたいと思います。</p>
渡邊議員	<p>通学費を補助することは高額であることがわかりました。これからも前向きなご検討をよろしくお願いします。</p>
土屋議長	<p>以上で通告 10 番渡邊空蒼議員の質問の全てを終了します。</p>
日程第 4 閉会宣言	
土屋議長	<p>以上をもちまして、本模擬議会に通告のありました一般質問は全て終了しました。これにて、終了したいと思います。</p> <p>本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。私が本模擬議会で学べたことは、一つの意見に対して、決められた時間の中で、メリットやデメリットを考えて結論を出し、相手を納得させるということです。当たり前のことかもしれませんが、改めてこのことが大切だと感じることができました。これは高校の生徒会や会社での会議など、将来に必ず役に立つと思います。そして、私たちがこのような素晴らしい経験ができたのも、先生方や町役場の皆様のおかげだと思っています。生徒を代表して御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第 2 回御代田町中学生模擬議会を閉会いたします。ありがとうございました。(15 時 55 分 閉会)</p>
町長あいさつ	
小園町長	<p>閉会に際して、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>まず、議長役の土屋伊吹さん、スムーズな議事の進行に努力いただきまして、大変感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>各クラスでの質問を集約し、質問いただいた 10 名の中学生議</p>

員の皆さん、限られた時間の中での確に町の課題についてご指摘いただきました。今回の経験は、今後に大いに生きるものだと思います。この経験を大切にしていだければと思います。ありがとうございました。

中学校からライブで模擬議会の模様を見守ってきていただいた皆さんも、下調べをしたり、質問の中身を一緒に考えたり、ご苦勞をいただいたと思います。新型コロナウイルス感染症の状況がなければ、皆さんにも全員に議会に来ていただいて、普段感じ取ることができない色々なことを感じ取っていただけれると思いますので、大変残念に思っています。しかし、視点を変えてみますと、今回ライブ配信を観ていただいている端末そのものも、国や町の施策で配備しているものであります。学校や町で出会う色々なことも元をたどると、国、県、町の施策が元になっているものがありまして、今回の模擬議会を通じて、生活の中で行政の役割について、今まで以上に感受性を高くしていただいて、気付けるようになることを期待しています。

議会という場所は、私も真剣勝負の場だと認識しています。議会の答弁を見ていただける国会の答弁や YouTube の町議会の中継を今後見ていただく中で、気を付けてほしいことは、回答を想定しながら質問をしていることだと思います。今日のご質問の中でも、私が答弁した内容をとともうまく取り入れて、まとめてくださっている議員の皆さんが何人もいました。そういった質問をしていただけると、有望な皆さんが御代田町で育っていらっしゃるかと、今日も再確認できました。一方で、自分の主張の繰り返しにとどまってしまうと、なかなか町と議会の間で質問や政策が深まっていけないと思いますので、自分は今日どこまで議論ができたのか振り返っていただくと、今後の役に立つと思います。

4月からは皆さんが新しい生活を迎えることになるかと思いますが、町外に進学や就職しても、御代田町のことをいつも気にかけていただくとありがたいと思いますし、仮に遠くに向かわれましても、皆さんがこちらに帰ってきていただいたときに、何らかの形で十分に活躍できるような町づくりを私としては今後進めていく覚悟であります。本日 10名の皆さんに中学生議員になっていただきましたけれども、模擬議会に終わる必要はないわけでありまして、実際に町の議員になることも可能です。今のまま何もなくて進んでいきますと、皆さんが 27 歳もしくは 28 歳になったときには、町の議会選挙があります。また、私が町長としておりますけれども、町長にも選挙によってなることがあります。試験を経て、役場職員となることもできます。ま

た、全くの別の仕事をしながら、区の役員や消防団員としてご活躍いただいている方が多数いらっしゃいます。町のために意見をさせていただくことも大変大事ですが、一人一人が町づくりを実践していく、一人一人が町づくりに協力していくことも大変重要であると思います。皆さんが今後どこに住むことになっても、地域のために自分に何ができるか考え、実践してもらえることを願ひまして、第2回御代田町中学生模擬議会の閉会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。